



第七歩 住処のハナシ

【住まいのいろいろ】

(ゆ) 秋ねえ…。
(毛) 秋といえば？
(鈴) まあ三択でしょうね。
(ゆ) まず、食欲。そしてスポーツ。で、あとは引っ越しね。
(毛) は？引っ越し？
(ゆ) そうよ、引っ越し！妖精の国では秋の引っ越しは縁起が良いとされているの！
(鈴) ゆうぼん半端ないってー！秋に引っ越しとか普通言ひひんやん！ホントゆうぼん半端ないってー！
(ゆ) 私たち妖精の引っ越しはさておき、それに関連する住まいについて聞いてもいいかしら？この前、時間があつたから広報しもつけ8月号を見返したの。そしたら「共同生活援助」っていうサービスにピンときたわ！
(毛) ピンと？
(ゆ) そう！特に共同生活ってどこ！アレでしょアレ、ナウな

ヤングのハートを驚掴みにしているシェアハウスってやつなんじゃないの！？もお、楽しそうったらありゃしない！どんな生活をしているのか、教えてくださいませんか？
(鈴) すごい期待感…。共同生活援助っていうのは通称「グループホーム」って言われているサービスだね。
(ゆ) シェアハウスじゃないの？
(毛) まあ意味合いは似てるけどね。数名で共同生活をするっていうのが共通だけど、住まいの形は色々。アパートタイプや戸建てタイプとか色々あるよ。世話人さんが配置されて、家事を手伝ってくれたりするんだ。食事を作ってくれたりもするよ。

【理由もいろいろ】

(ゆ) グループホームを利用する理由は？やっぱり出会いかしら！どう？一択でしょ！？
(鈴) 出会い目的は聞いたこと

がないなあ。よく聞くのは、将来に備えてまずはサポートが受けられる環境で生活してみたい、とか。

(毛) 前に僕が担当した人は一緒に住んでいた家族が亡くなってしまったという理由だったよ。
(鈴) 理由は人それぞれだね。差し迫った中で利用する人もいれば、将来を見越して計画的に使う人もいるってことかな。
(ゆ) ふーん。そうしたら誰もがグループホームに入るんじゃない？だって安心そうなもの。
(毛) いや、でもね。共同生活が苦手な人もいるしね。ほかのサービスをうまく組み合わせながらひとり暮らしをしている人もいるよ。
(鈴) いまは環境を整えることで重度の障がいがあってもひとり暮らしが選択肢に入るようになったよね。
(毛) 色々な生活の形があるよね。入所施設を選ぶ人もいるし。

【現状もいろいろ】

(鈴) 生活場所を考えるにあたって選択の幅が広がることは良いと思うけど、現状は厳しいものがあるんだ。
(ゆ) と、言いますと？
(毛) まず、下野市にはグループホームや入所施設が少ないんだ。しかも、それぞれの施設は常に満員状態っていう。
(鈴) もう長らく「シモチュー」状態継続中ですよ
(ゆ) は？シモチュー？
(鈴) 「下野の中心でグループホームや入所施設が少ないと叫ぶ」状態ですよ。
(ゆ) わかりにくい!!!そのわかりにくさときたら、カンピくんって下野市のゆるキャラだと

思っていたら、道の駅しもつけのゆるキャラだったってくらいわかりにくいわ！でもやっぱり共同生活って憧れちゃう！わたしひとり暮らしが長いから。それに秋だし。人恋しい季節だわ～。
(毛) それならゆうぼん、今度下野市で楽しいイベントがあるから行ってみたら？
(ゆ) え？なにに？
(鈴) 11月24日(土)にしもつけふくしフェスタっていうイベントがあるよ！場所はゆうゆう館！僕らも手伝いで参加するから遊びに来なよ。
(ゆ) ヒーハア！楽しみひとつできたっ♪楽しみにしてるわ！

掲載内容、記事へのご感想をお待ちしております。

障がい福祉に関する現状などを掲載していきます。掲載して欲しい内容がありましたら取り入れたいと思いますので、当センターまでご連絡ください。

